

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

January
ISSUE



January, 2023

Volume 130

激動の世界と「一国の良心」

新年明けましておめでとうございます。本年も本校に対する皆様方の一層のご支援、ご鞭撻を何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、去年は、ロシアによるウクライナ侵略や新型コロナウイルスオミクロン株の大流行、エネルギー危機や急速に進展する円安による物価高など、まさに激動の一年でした。

特に、国際社会に目を向けると、ロシアによるウクライナ侵攻はもとより、中国や北朝鮮などの核兵器を巡る脅威の高まり、国際社会の分断など、戦後最も厳しいとも言える安全保障環境に直面しています。これらの背景には、強権指導者らによる暴政、各国首脳間の国際協調を守ろうとする連帯感の脆弱さがあるものと考えられます。

ところで、同志社教育の原点は、言うまでもなく「良心」です。「良心とは、第一に人間的精神の「導き手」であり、第二にそれは具体的な行為の場面で、私たちの行為を監視し、吟味し、裁く、「内面的な法廷」の場である。人間はどんなに素晴らしく、また善いと自らが思った理想や価値、理念であっても、いつの日にか我意と利己に満ちた独善的で、また下賤な欲望や野望を混入させて、これを墮落した姿へと引き摺り落としてしまうことが起こりやすい存在者なのである。それだけに、私たちは、いっそう鋭く、また純粹に「良心」という「内面的な法廷」の場に身を置いて、その「呼び声」に耳を傾けつつ、自分のあり方や生き方に、監視の眼を光らせ、自己を正しく導くよう努力しなければならないのである。」（渡邊二郎著、「人生の哲学」より抜粋）

校祖新島襄が記した「同志社大学設立の旨意」の一節に、「其目的とする所は、独り普通の英学を

教授するのみならず、其徳性を涵養し、其品行を高尚ならしめ、其精神を正大ならしめんことを勉め、独り技芸才能ある人物を教育するに止まらず、所謂良心を手腕に運用するの人物を出さん事を勉めたりき、而して斯くの如き教育は、決して一方に偏したる智育にて達し得可き者に非ず」と書かれています。つまり、同志社大学設立の目的は、「ただ知識としての学問を教えるだけではなく、人として正しくあり、品性を高め、何事にも負けない精神を持つようとする人を育てること」で、「『良心』を抛り所に世の中で活躍する」人材を輩出することです。そのためには、キリスト教主義を基本に良心を育てることにしました。なぜならば、キリスト教では、「ひたすらに神を信じ、本当に正しいこと（真理）を愛し、他の人の立場に立って物事を考え行動する」（人情を敦くする）からです。

また、その末節には「一国を維持するは、決して二、三英雄の力に非ず。実に一国を組織する教育あり、智識あり、品行ある人民の力に拠らざる可からず。是等の人民は一国の良心とも謂ふ可き人々なり」とも書かれています。つまり、国の安定（平和）を守るのは、二、三人の英雄の力ではなく、「一国の良心」ともいうべき教育や知識、品性の高い多くの人民の力によるものなのです。

昨今の国際情勢を眺めながら、同志社で人材育成に携わる教育者の一人として、良心碑に刻まれている校祖新島の想い（願い）である「良心の全身に充満したる丈夫（ますらお）の起り来らん事を」を改めて噛みしめています。

校長 柳田 昌彦



キリスト教教育

1月：信仰・信頼 January: Faith/Trust

「新しい歌を主に歌え 喜びの叫びと共に美しく奏でよ。」

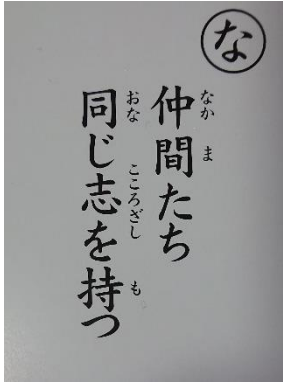
詩編 33:3 (聖書協会共同訳)

2022年11月29日の同志社創立記念日に、第2回目の Doshisha New Day が催されました。これは新島襄に始まる建学の精神即ち同志社の良心教育について思いを深め、同志社がこれまでに積み重ねてきた歴史を正確に検証しつつ、200年、300年と繋がる未来へと発展的に歩みを進めていくためのイベントです。

今年度は、春学期募集していた「同志社オリジナル賛美歌」の最優秀作品の発表と、各賞受賞者の方々の表彰式があり、本校5年生Rさんも特別賞で表彰されました。ぜひ、下記のリンクで当日の動画を御覧ください(本校チャプレンも開会祈祷と「同志社・新島かるた」について短いプレゼンを行っております)。

<https://150th.doshisha.ed.jp/150th-info/detail/201>

下に掲げたのは最優秀賞を受賞した作品で、賛美歌タイトルは『主の道を行こう』です。





主の道を行こう		
(1番)	(2番)	(3番)
主の道を行こう ともに めりあわす心をも 愛しめあひ 共に歩め	主の道を行こう ともに めりあわす心をも 愛しめあひ 共に歩め	主の道を行こう ともに めりあわす心をも 愛しめあひ 共に歩め
みどりつつの道に歩んで いまここにあらはれ	みどりつつの道に歩んで いまここにあらはれ	みどりつつの道に歩んで いまここにあらはれ
同じ道を 歩むものあり 愛をもって 行こう	同じ道を 歩むものあり 愛をもって 行こう	同じ道を 歩むものあり 愛をもって 行こう



以下は、作詞者の「堀之内 涼」さんがこの歌詞を作成するにあたり参考にされた聖書の言葉と、その理由です。素晴らしい内容なので、原文そのままをご紹介します。

「主は人の一步一步を定め、御旨にかなう道を備えてくださる。人は倒れても、打ち捨てられるのではない。主がその手をとらえていてくださる。」(日本聖書協会『聖書 新共同訳』詩編 37 章 23 節～24 節)

同志社に集められた私たちがここで神様にあたらしくされ、世の中へ派遣されていくことを願い、希望を持ち歩んでいく姿を表す賛美歌を作詞した。同志社を表す「one purpose」をイメージし、「one purpose」とは同じ目的(志)であり、神様との約束であり、ただひとつの真実であると考え、歌詞に入れた。

また、新島襄が1886年仙台教会での説教で「『キリスト教とは何か』と人から尋ねられたら、『愛を以てこれを貫く』と答えたい。」と話している。その言葉から「愛をもって」という言葉の着想を得た。私たちもこの気持ちを忘れず持ち続けていきたい。

私たち一人ひとりが与えられた道を神様に信頼して歩いていこう。愛をもって神様に喜ばれる道をともに歩んでいこう。

これまでも、これからも。

堀之内さんは小学校から大学までずっと同志社で育ってこられた、まさに「生え抜き」の学生さんです。この賛美歌が同志社の良心教育の果実の一つとして、またどんどん素敵な実の種を生み出してくれるものになることを願っています。

(Christian Education Committee チャプレン 石川眞弓)

<お知らせ>

・1月のおにぎり献金は17日(火)です。感染症予防のため、献金は封筒かジップロック等に入れてお子様にお持たせください。

G1 同志社を見つけたよ♪

今回は、1年生が見つけた同志社を、春から順を追ってご紹介いたします。

礼拝の時間

「今日は日本語礼拝かな」「だったら緑色の聖書だね」——1年生の朝の会話です。入学して1ヶ月と少し経ち、DIAのお姉さんやお兄さんたちに助けられながら、小学校の生活にも慣れてきました。1年生は朝の礼拝がとても楽しみで、なかには前日から明日の礼拝の準備をしている人もいます。DIAのみなさんにとっても、1年生の4月の頃を思い出すと懐かしくなるのではないのでしょうか。

学校探険したよ

Unit 1は、How We Organize Ourselvesのユニットでした。学校探険をしながら、学校のなかのいろいろな人と出会い、「コミュニティー」について考えました。ライブラリ、保健室、守衛室、チャペル、サイエンスルームなどを訪れては、インタビューしました。校長の柳田先生にもインタビューをしました。

柳田先生がDIAのなかでいちばん好きな場所は、チャペルだそうです。1年生も入学式からチャペルを気に入っていらしたので嬉しそうでした。また、どうして「校長先生」ではなく「柳田先生」のように名前と呼ぶのかという話になり、同志社の学校では新島にならって、役職ではなく名前で人を呼ぶことも学びました。

はじめてのおにぎり献金

毎月第2火曜日は、おにぎり献金です。「何かを我慢して、我慢した分のお金を持っていく」というのは、1年生にとって初めての体験だったかもしれません。「おやつのお菓子を我慢しよう」「全部じゃなくて半分にしよう」「ケーキを少し減らすのでもいいかな」と、1年生なりに我慢できそうなことを考える姿が見られます。聖書から学び、将来困っている人に目を向ける、そんな大人になってほしいです。

畑で野菜を育てよう

Unit 2では、Sharing the Planetのユニットです。1年生もさっそく、トマトとパプリカとバジルを植えました。畑の雑草を抜いたり、畝を整えたり、野菜を植えて水やりをしたりしながら、がんばって育てています。

新島もアメリカ時代は自然科学を中心に学びました。とくに、植物のスケッチや鉱石の採集に熱心だったと聞いています。きっと、紫色のパプリカを喜んでもらえることでしょう！





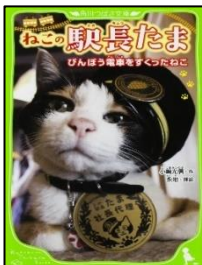
おしらせ

テーマは「猫」！～G6 Exhibition から～

こんにちは6年のSです。私はExhibitionのトピックで「猫」を選びました。このテーマを選んだ理由は猫の魅力について知ってもらい、猫のことを皆さんに好きになってもらいたいからです。探究を進めるうちに猫の魅力について考えるようになり、猫は物語の主人公として多く登場することに気が付きました。そこで、皆さんにその魅力を伝えるため、Actionとして猫が載っている本を紹介することに決めました。



今から紹介する本には小説と絵本があります。特におすすめなのが「ななめねこ まちをゆく」です。このお話は斜めにかたむいて歩く猫が主人公です。この斜め猫が歩くのを真似して街の人々が斜めに傾くとどうなるでしょうか。なぜおすすめかというと結末が意外だからです。少しだけヒントをお伝えすると、ある小さい幸せが起こります。結末を知りたい方はぜひ借りてみてください。



「ねこの駅長たま」このお話は和歌山県にある貴志駅で駅長を務めた、駅長たまのお話です。たまは駅で育ち、今の貴志駅では2代目のニタマが駅長を務めています。駅長たまは貧乏電車を救った猫です。この本は世界中から愛された駅長たまの人生を書いたお話です。



「図書館ねこデューイ」はアメリカ、アイオワ州にあるスペンサーという小さな町にある図書館のお話です。ある寒い日、本の返却ポストに猫が入っていました。その子は後にデューイ・リードモア・ブックスと名付けられ、図書館ではお客さんのひざに乗ったりして、町を幸せにしたりしました。この本はデューイが起こした、本当にあった色々な出来事が書いてあります。



「ねこどんなか」は猫の色々な顔、例えば、怒った顔、笑った顔、美味しい缶詰めをあげた時の顔などが描いてあります。とっても面白い本なのでぜひ読んでみてください。

これらの本はDIAの図書館にあるのでぜひ借りてみてください。

1月の主な行事・予定

1	日	元旦 / New Year's Day
2	月	振替休日 / Substitute holiday
3	火	冬期一斉休暇 / Winter Holiday
4	水	冬期一斉休暇 / Winter Holiday
5	木	冬期一斉休暇 / Winter Holiday
6	金	始業礼拝 (午前授業)
7	土	
8	日	
9	月	成人の日 / Coming of Age Day
10	火	Unit 5 (Week 5)
11	水	委員会
12	木	
13	金	避難訓練 / 引渡し訓練
14	土	新1年オリエンテーション
15	日	
16	月	Buffer Week
17	火	
18	水	クラブ
19	木	
20	金	G2 校外学習 (奈良)
21	土	
22	日	
23	月	校祖永眠の日
24	火	Unit 6 (Week1)
25	水	
26	木	G6 Exhibition オープンスクール
27	金	G6 Exhibition オープンスクール
28	土	
29	日	
30	月	Unit 6 (Week2)
31	火	

2月の主な行事・予定

17 タレントショー

20-28 授業参観・学級懇談会